

学生募集戦略検討委員会

令和3年度「学募共同事業」第2回勉強会を開催しました

2021年9月13日(火)に「学募共同事業」勉強会をオンラインで開催し、15大学27名にご参加いただきました。

冒頭、福祉系大学経営者協議会 丸山悟会長（日本福祉大学理事長）より「福祉の仕事はシャドーワーク（本来は無償労働という意味）だと思われる節もあるが、本当に苦しんでいる人にとっては、自身と一体となって支えてくれる“安心な存在”がソーシャルワーカーである。このような福祉の仕事の素晴らしさを、ソーシャルワーカーの存在価値とあわせてより積極的に発信すべきではないかと考えている。本日の勉強会では、Twitter 広告の結果から高校生の志向等を読み解き、今後の展開について議論が重ねられたらと考えている」と開会挨拶がなされました。

1. 2021年度学募共同事業の結果について

報告：横地祐人 氏（株式会社ボーダーリズム 執行役員）

2021年7月5日～7月16日に、Twitter 広告を配信しました。最近急速に広がりを見せている「SDGs」、パラリンピックの開催という時期を捉え「障害をもちながら一線で活躍する人」を取り上げたもの、これまでも行ってきた「福祉」に特化したものの3種類を配信。勉強会では、配信結果とそこから推察される高校生の志向性について報告されました。

2. 学生募集に関わる先進的な事例について

報告：飯島隆介 氏（株式会社リクルート まなび進学情報 Division 総合企画部大学グループ 首都圏チームリーダー）

EdTechをはじめとするDX化の事例を紹介いただきました。「DX化は、どの業界でも今後生き抜いていくために必要不可欠。福経協でも、学生募集というテーマのもとで、DX化について情報交換や議論を重ねていけるとよいのではないかと述べられました。

3. 学生募集、入試事業に関わる情報交換

学生募集、入試事業の状況について、参加校の情報交換を行いました。

最後に、学生募集戦略検討委員会幹事校の淑徳大学 長谷川俊哉事務局次長より、「先頃開催されたパラリンピックでは、伴走者など選手をサポートした人達が、まさにシャドーワークをされていた。個人をサポートする姿が、視聴者の感動に繋がり、世の中を変革していくきっかけとなっている。福祉の仕事も同じで、我々は今後、データサイエンスの活用と広報活動により、その内容・魅力を伝えていくべきだと思う。Twitter 広告で取り上げたSDGsの目標は、まさに福祉に直結している。SDGsへの取り組みは各校様々だが、今回の配信結果等を踏まえ、引き続き意見交換を行っていきたい」と閉会挨拶がなされました。

以上、現況の共有、把握に留まらず、今後の取り組みを考える上で有意義な勉強会となりました。次回の勉強会は、12月頃に開催する予定です。